

令和5年 坂東市写真コンクール受賞作品が決定しました

📷 最優秀賞

「翔!!」坂東市 木村 様



「令和5年1月～12月の坂東市内のイベント・風景等」を題材に募集した写真の受賞作品が決定しました。たくさんの作品をご応募いただき、ありがとうございました。

受賞作品を展示します

日程や場所など、詳細については坂東市観光協会ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

観光協会
ホームページは
こちらから



「将門の郷を駆け抜ける」坂東市 石塚 様



📷 優秀賞

「待ちわびて」坂東市 荒井 様



📷 特賞(3点)

「霧に潤う応援花」坂東市 根本 様



「アサザで染まる」坂東市 倉持 様



☎坂東市観光協会(商工観光課内) ☎0297(20)8666

短歌

ばんどう文芸

今井 清 選

ドクダミの生え初めし陽の温かさ化粧水作り友に届けよう

杵い日に亡夫が吹いてた尺八の音に似た「もがり笛」今宵も聞こゆ

鬼怒川を遡上する鮭飛び込みて生け捕る男らありしとき母は

トラクターの音響きたる休耕畑に麦青々と春陽遍く

久びさに砂沼の桜見にゆかむ子ら連れゆきし過去の思ほゆ

寒風に耐えて花咲く蠟梅にわれも負けじと遠き春待つ

春待たず縁ありし人の近き去りて庭にほつぽつ蠟梅の咲く

いつの間にか傘寿となりて新聞のお悔やみ欄にまなが動く

この春は早めに咲いた春蘭が梅の木の下凜と咲きおり

春休み孫初めての海ほたる母、花摘みシーワールドへ

眠る前障子を開けてそっと見る東の空のおぼろな月を

水飲むにわが肩に添ふ幼き手生きる証を確と伝へ来

利根川の流れに流る大夕焼け流れて茜は静かになりぬ

【評】一首目、作者は九十七歳、老年でも化粧水に拘っているのが若々しい。艶のある作品。二首目、「もがり笛」(虎落笛)は竹垣などに風が当り笛のような音を出す風。口語と文語が混ざり素朴な哀調を出している。三首目、昭和期まで水海道地方の鬼怒川では鮭の掴み取り捕獲があった。懐かしい風物詩である。現在は禁止されている。十三首目、「流れ」が三回も使われているが煩くない。夕焼けの景色が単純化されて詩情豊かである。利根川近くに住む人のひとりの終局を感じる。

短歌の作品を募集します！

皆さんからの短歌を広く募集します。投稿される方は、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、掲載希望月の前月20日までに届くように選者宛にお送りください。

なお、俳句につきましては、当面の問あ休みさせていただきます。

選者 今井 清 〒300610604 幸田新田435 ☎0297(35)28664